

## 平成30年度 地域学交流集会 実施報告（HP版）

- ◆テーマ：地域学をつなぐ～未来の大人と今の大人が繋がる地域学交流集会～
  - ◆日時：11月17日（土）13：15～16：30
  - ◆会場：遊学館3階第1研修室（山形市緑町1-2-36）
  - ◆参加者：：全体36名  
一般参加者19名※市民団体等8団体9名ほか、公民館職員、教員、大学生、市民等高校生7名、引率教員2名、企画委員3名、事務局5名
  - ◆内容：地域探究型学習・課題解決型学習あるいは専門分野の実学の間として地域学を実践する高校生や大学生が増えています。蓄積された地域学を活かし次世代に繋いでいくためにも、地域学の担い手である彼らの活動を学び、連携や共創のあり方を探りました！
    - 13：15～ 開会・オリエンテーション
    - 13：35～ 基調講義「学校では学べない地元のことを  
地元の大人と学ぶジモト大学の取り組みから」  
講師：最上総合支庁総務課連携支援室連携支援主査 坂本健太郎氏
    - 15：35～ シンポジウム「未来の大人と今の大人がつながるために」  
シンポジスト：創学館高等学校モノづくり倶楽部  
県立置賜農業高等学校豆ガールズ
    - 16：30 交流タイム・閉会
- コーディネーター：一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事 廣瀬隆人氏



オリエンテーションで参加団体の活動紹介！



“ジモト大学”に学ぶポイント満載の講義！



創学館高等学校モノづくり倶楽部・県立置賜農業高等学校豆ガールズさんの熱いご発表！



## <参加者VOICE>

- 地域に関わることの楽しさや難しさを再認識しました。
- 様々な意見を聞かせていただき参考になりました。
- 地域協働の現状を知ることができました。高校生の発表が素晴らしかった。
- これからの地域について考えることが大事だとわかりました。
- 自分達の活動と地域について考える機会ができたと思います。今回学んだことを、今後の部活に繋げていきたいです。
- “学校では学べない地元のこと”こそが地域の宝になっていくのだなと感じました。
- それぞれの活動や熱い姿勢を目の当たりにして、自分ももう一度地域をしっかりと見つめたいと思いました。とても有意義な交流集会でした！
- 高校生たちが地域社会と関わった活動、とても勉強になりました。本当はもっと現場の先生が参加すべきだと思いました。私の高校にも地域から様々な要望があります。全部受け入れることは困難ですが、地域との連携は必要だと思います。どうつながっていくか、学校も敷居を下げる必要があるといつも思います。ありがとうございました。
- 高校生の活躍、エネルギー、たくましさや心強さを感じました。
- 様々な団体の事例発表を聞くことができ、今後の活動に大いに活かしたいと思います。
- 多くの人々に地域学の大切さに触れてほしいと思いました。

※後日、講義や発表内容をまとめたレポートも掲載予定です。